

25 mm

第23回基礎有機化学討論会予稿原稿の書き方と予稿原稿見本

(京大院理¹・JSTさきがけ²) ○京大太郎^{1,2}・八橋次郎¹・清水三郎¹

【緒言】講演予稿原稿の書き方

1. A4版を用い、上 25 mm、下 20 mm、左 20 mm、右 15 mm の余白をとってください。
2. 題目 フォントサイズ 14 ポイント、太字、左寄せ、日本語（講演番号は余白に入れます）
一行空白行を入れて、研究が行われた場所の省略表記＋著者名（講演者に○）（フォントサイズ 12 ポイント、左寄せ、日本語）。
3. 発表者名と本文の間は 1 行分空けて下さい。
4. 本文 フォントサイズ 12 ポイント、左寄せ、日本語または英語

* ポスター発表者

- ・ 1 ページで作成。
- ・ 1 ページ目の最後に、英文題目（フォントサイズ 14 ポイント、太字、左寄せ）＋（一行空白行を入れて）著者名（講演者にアンダーライン）＋ 研究が行われた場所（フォントサイズ 10 ポイント、左寄せ） **英文アブストラクトは不要**

* 口頭発表＋特別講演＋野副記念奨励賞講演

- ・ 2 ページで作成。1 ページ目の最後まで本文を記入し、2 ページ目の最初の行（上余白 25 mm）から本文を引き続き記入。
- ・ 2 ページ目の最後に、英文題目（フォントサイズ 14 ポイント、太字、左寄せ）＋（一行空白行を入れて）著者名（講演者にアンダーライン）＋ 研究が行われた場所（フォントサイズ 10 ポイント、左寄せ）＋ 英文アブストラクト（口頭での発表者のみ）

○フォントは、日本語は明朝系のフォント、英語は Times 系のフォントをご使用下さい。

○行間は 18 ポイントを標準としますが、常識的な範囲で適宜調整いただいて結構です。

○本文中の参考文献のフォントサイズは、10 ポイントでも構いません。

○基本的には第 22 回基礎有機化学討論会の要旨のフォーマットと同じですので、前回の討論会の要旨集も参考にして下さい。

○原稿のハードコピーを郵送される場合は、1 ページ目右上の余白に参加申込時の受付番号（数字のみの 6 桁の番号）を鉛筆書きにて記載して下さい。

Abstract Guideline for 23rd Symposium on Physical Organic Chemistry

Taro Kyoudai^{1,2}, Jiro Yatsuhashi¹, and Saburo Kiyomizu¹

¹Graduate School of Science, Kyoto University, ²PRESTO, JST

Abstract: Oral presentation only

20 mm

20 mm

15 mm